



あゆみの家祭〈10/19(土)〉(左. ぐっどらんど演奏 右. 第二あゆみの家発表)

あゆみの家

No. 103号

障害支援区分

生活介護や居宅介護（ホームヘルプ）、あるいは共同生活介護（ケアホーム）など介護給付費の対象となる障害福祉サービス事業を利用する場合は、市町村による「障害程度区分」の認定が必要です。

この「障害程度区分」は、二〇一四（平成二六）年四月一日から「障害支援区分」に変わります。

二〇一三（平成二五）年十一月一九日に開催された社会保障審議会障害者部会で、今春から検討されてきた障害支援区分モデル事業の結果や今後のスケジュールが報告されました。

従来の要介護認定（樹形図）によるものでは肢体不自由以外の障害特性を十分に反映できないことから、認定調査項目の大幅な見直し（追加、統合、削除）が行われ、現行の一〇六項目から八〇項目に変更されています。また、選択肢についても現行の「できる・見守り、一部介助・全介助」から「支援が必要・見守り等の支援が必要・部分的な支援が必要・全面的な支援が必要」に変更されます。報告では、一次判定の『新たな判定式（案）』について二月中旬にパブリックコメントが実施され、一月には省令の交付、認定調査マニュアル等の配布、都道府県担当者研修、二月に市町村に判定ソフトが配布されることが明らかにされました。そして、四月から新たな「障害支援区分」が施行されることになります。関係者にとってはそのための準備が求められることになります。



の
中
で
最
も
弱
く
、
無
力
に
見
え
る
人
々
の
と
こ
ろ
に
も
来
て
く
だ
さ
る
方
で
あ
る
と
い
う
こ
と
で
す。
私
た
ち
は
人
間
を
そ
の
人
の
能
力
や
地
位
、
財
産
な
ど
で
量
っ
て
し
ま
い
ま
す
が
、
神
は
親
が
自
分
の
子
ど
も
を
無
糸
件
で
愛
す
る
よ
う
に
、
す
べ
て
の
ひ
と
を
愛
し
て
お
ら
れ
ま
す。
イ
エ
ス
・
キ
リ
ス
ト
の
誕
生
に
よ
っ
て
目
に
見
え
る
よ
う
に
あ
ら
わ
さ
れ
た
こ
の
よ
う
な
神
の



「神が人となられた」

理 事

齋藤 幸二

もうすぐクリスマスです。クリスマスは神の御子イエス・キリストの誕生を祝う時ですが、「生誕祭」ではなく「降誕祭」と呼ばれています。神が人となり、この世にお生まれになったことを祝う

のがクリスマスだからです。

キリストは「救い主」と呼ばれますが、聖書では「主」は神をあらわす言葉です。偉大な神の御子が小さな赤ちゃんとあつてこの世にいられたクリスマスの出来事は私たちにとても大切なことを示しています。

愛は、私たちの人間観を大きく変えます。

第二に、クリスマスの出来事は幸福の概念を変えます。私たちがこの世の幸福をどんなに多く得たとしても、それらのものは必ず過ぎ去り、消えてゆきます。しかし神が私たちに尊い御子を与えてくださったのなら、私たちはすべてを持って迎えているのです。そして神様はそのような祝福にすべてを招いておられます。

第三に、神が人となられたというクリスマスの出来事は、私たちにどのような生き方が尊いのかを示しています。偉大な生き方というのは、神がそうされたように、神が大切にされている人々のために、自分も身を低くして仕えるという生き方です。同時に、この私にも神が仕えていてくださり、また多くの人々が仕えていてくれることを覚えていたいと思います。

私たちはそれぞれ違う立場、異なる務めを与えられていますが、それぞれの場所で、私たちのところに低い姿でいられた神様を思いながら、歩んでゆきたいと思っています。



『林町デイセンターのご紹介』

生活支援員 蔵園 真歩

大垣市林町に位置する林町デイセンターは、生活介護事業定員十四名、自立訓練事業定員六名で毎日楽しく活動しています。私達の事業所は、二〇〇八年に開設して今年度で五年目を迎えています。今回は、生活介護事業を利用されている、重症心身障がい仲間達を中心とした、取り組みの内容についてご紹介すると共に、私達が提供する支援内容についてお伝えします。

日中活動支援として、主に体操・散歩・入浴・クッキング・紙すき作業・スヌーズレン等を療育活動として行っています。体操では、寒さや筋肉の緊張で固まっている手足や体を、優しくマッサージしながら伸ばしています。クッキングや紙すき作業では、一人一人の個性や特性に合わせた参加の方法をしています。例えば、手首や腕の関節が固まって伸ばすことのできない仲間には、支援者が共に道具を握り、目前に材料を設置して取り組みます。目の前で変化していく材料を、実感



クッキング
早く食べたいなあ。

感じることができるようにしています。

林町デイセンターでは、希望する方の中で、ご家庭での入浴が難しい方に限り入浴支援を提供しています。前記の中で「入浴も療育活動？」と疑問に思われたかもしれません。入浴は単に体の清潔を保持することだけが目的ではありません。重い障

がい故に、筋肉の緊張や関節の拘縮がある方にとって、洗髪や洗体、温かな湯船に浸かることは、心身共にリラックスされる時間であります。この貴重な時間を、私達は大切に、仲間達とコミュニケーションを図る絶好の機会と捉えています。現に、入浴時間帯の心地よい空間の中で、緊張が緩み、柔らかな表情で、支援者の問いかけをしつかりと聞き、応えてくださいます。

どんなに重い障がいがある人でも、心があり、思いがある。その思いを汲み取り意思疎通を図ることが、私達の支援の大きな柱となっています。言葉の無い方、表情の変化が少ない方、吸引等の医療的ケアが必要な方達の思いを汲み取る為には、繊細な支援が必要です。会話は一対一で成り立ちますので、その繊細な支援を一人一人、この事業所の全スタッフが共通の認識をもって行うことができ、初めて質の高い、繊細な支援が提供できるのです。



体操の様子

最後になりますが、日々緊張した支援が続く中で、療育活動を通して紡ぎ出される、利用者一人一人の魅力に、心が潤わされて笑顔が広がっていきます。林町デイセンターはそんな笑顔溢れる事業所ですので、一度遊びに来てください。



クッキング
一生懸命作るぞ！

『すまいるらんどのご紹介』

所長 説田 仁美

すまいるらんどでは、工賃作業を中心として、働くことを積極的に取り組んでいます。

また、ピザパンやシフォンケーキ、季節の素材を使ったムース、スイートポテト作りもおこなっています。シュシュやくるみばたん、におい袋といった作品作りもしています。その他に、地域の中での、いろいろな体験の取り組みに力を入れています。

まずは、「自分たちの外出!」「自分たちの活動」ということに自覚を持っていただけるように、計画段階から仲間と話し合って計画を進めています。

外出では、いろいろな経験をしていただきたいため、新たな外出先や活動を開拓し努めています。

地域との関わりでは、お隣に住んでいる岡本さんが、毎週お花を持ってきてくださったり、時期になるとジャガイモ・サツマイモ掘りを体験させてくださいます。今年の十月下旬にもサツマイモを掘り、そのお返しに、そのイモでスイートポテトを作り食べていただき喜んでもらえました。

そのような、関わっていただける人たちの気持ちを大切に、私たちも何か、取り組んでいきたいと思っています。今、私たちができることは、元気を提供することです。これからも、笑顔、スマイルでがんばっていきます!!



たくさんさつまいもが
とれたよ!



みんな、ハイ、チーズ
おとなりの岡本さん、ありがとう!



外出先を、写
真を見て決め
ています。

発達障がい者の理解と実践

「発達障がい者支援実地研修事業を通して」

第二あゆみの家 生活支援員 吉安 彩香

現在、第二あゆみの家では『高齢化』『重度化』が顕著となり、入所施設として共に生活していく中で環境（ハード）・体制（ソフト）ともに大きな課題となっています。また、発達障がいの方の入所やショートステイの希望が高いのも現状です。

このような課題に対応していくため第二あゆみの家では、県の事業である「発達障がい者支援実地研修事業」に申請し、現在その取り組みをしていますので紹介させていただきます。

この研修事業の特徴として講師の先生と年間5回、継続して研修を受けることができ、その費用は県の事業として負担していただけることです。今回指導していただいた大垣女子短期大学の松村齋先生は施設での経験も豊富にある方で、行動の理解や支援の考え方をわかりやすく解説していただきました。研修のプログラムとしては、日中活動場面には職員と行動を共した「実地」、夕方の研修会では実際の映像などを用いて実地細かく解説をしてくださる「理論」、双方で紐解いていくというものです。

支援員も様々な課題や悩みをぶつけていくのですが、文字通り「実地研修」です。先生には直接現場に立ちあって頂き行動一つ一つを専門的に解説して下さるため、言葉の

コミュニケーションを苦手とする発達障がいの方の通訳者のような、「対象者の思い」がみえてくるような感覚でした。その中には細かなアドバイスや見解が織り交ぜられており、違った視点からの意見がとても新鮮でした。

実際に私が立ちあったケースでは、最近問題行動がエスカレートし不潔な行動がみられこだわりの移行もある……支援者は原因が掴めず何もアプローチできない焦り……。そういった中での実地研修で悩みや質問はたくさんありました。その一つ一つに寄り添い、たくさんのアドバイスを頂きました。

講師の先生の最も印象に残っている言葉。「利用者の困った行動は何よりも利用者自身が困っていること。そしてそのことに職員が真摯に向き合っていることに方向は間違っていない」と言われたことです。

今回の研修事業は私たち支援現場と大学の研究者との共同作業です。この研修を通して第二あゆみの家のオリジナルな支援ガイドブックの作成を考えています。講師の先生を通して分かった事、そんな事を支援者で共有し、生き生きと潤いある生活を送るために、日々の支援に反映していけたらと思っています。



発達障がい者支援コンシエルジュ事業

就業・生活支援センター 桑谷 一也

今年度から西濃障がい者就業・生活支援センターに新たに加わった事業のご紹介をさせていただきます。

これは岐阜県の事業でその実施要項によりますと、「発達障がい者の支援を専門に担当する職員（以下コンシエルジュという）を配置し、関係機関と連携して圏域内の発達障がい者支援にあたりと共に、発達障がい児者支援に関する会議、研修に参加する事により児者一貫した支援体制の構築を図る。」とあります。

簡単に言えば発達障がい者専門のよろず相談窓口だと理解していただければと思います。ご本人ご家族はもちろん関係者や企業様などなたでもかまいません。当初は知られていない事もあつてか問い合わせも少なく、今まであまり連携を必要としていなかった療育や医療等の勉強会に積極的に参加させて頂き、自身の知識向上を図ると共にネットワークを拡げる活動が主な業務でしたが最近は問い合わせが入る事も多くなってきました。

これまでの相談内容は次の三つに分けられます。

- ・ 本人からの相談として、学業を終えるまでは特に不自由は感じていなかったが社会に出てから職場でなぜか浮いてしまう。そして思い悩みがあつて二次障がいが診られるようになった、又はなりかけている。

- ・ 家族や支援関係の方からの相談として、個性と捉えてお

り障がいとは思っていないのでその事での意識は薄い。あつても高機能がゆえに特別支援教育にはのれなかった。しかし就職に際してなかなか思うようにいかない。出来ても定着が困難になっている。

- ・ 社会的な問題（触法行為）等の家族や関係者からは、既にこれまで医療や支援機関に相談しているが、思うような答えが得られず、新しい情報を期待されている。

このような中で原則、求められれば一度はお会いして話を聞くようにしています。

初回の面談ではまずは聞き役に徹して何に困ってみえるのか？それに対して私が何をさせて頂けるのかを説明し信頼関係を築くことを目的にします。他機関を紹介する場合もありますし、必要に応じて他機関に協力もお願いします。一度だけで（頼りにならないと思われる？）その後の連絡は無い方もみえましたが、ほとんどの方がその後何らかでの関わりを望まれています。

しかしながら、できる支援には限りがあり、本当にどのような関わり方をしていけばよいのか、自問自答の毎日です。又、当センターとしても出来る事には限りがあります。必要なサポート体制の提言も大切な役割と考えています。まだ歩み出したばかりですが関係機関のご協力もいただきながら、自立した生活をめざしておられる発達障がい者のみなさんの、少しでもお力になれるよう頑張りたいと思っています。

出来事ピックアップ



林町デイセンター
名古屋科学館（9／11）



第二あゆみの家
夏祭り（8／10）



デイセンターあゆみの家
流しそうめん（9／21）



きずな 2006
バーベキュー大会（9／14）



オリーブ
ハロウィンパーティー（10／31）



第二あゆみの家
合原小学校運動会（9／22）

行事予定

12/21(土) クリスマス祝会

最近のできごと(7/21~11/30)

- 8/10(土) 夏祭り(第二あゆみの家)
 8/17(土) 夏祭り(林町デイセンター)
 9/8 (日) 西濃地区手をつなぐ育成会主催
 ふれあい観劇会
 (ぐっどらんど音楽活動G出演)
 9/9 (月) 綾里幼保育園児との交流会
 (ぐっどらんど)
 9/11(水) 日帰り旅行 名古屋市科学館
 (林町デイセンター)
 9/14(土) バーベキュー (きずな2006)
 9/21(土) 流しそうめん
 (デイセンターあゆみの家)
 9/22(日) 合原小学校運動会
 (第二あゆみの家 きずな2006)
 10/19(土) あゆみの家祭
 10/31(木) ハロウィンパーティ(オリーブ)
 11/13(水) 養老名鉄レストラン ランチサービス
 11/30(土) 合同職員研修会



西濃地区手をつなぐ育成会主催観劇会
ぐっどらんど音楽活動Gの出演でしたー

ボランティア(6/21~10/31)

延べ: 41回 163人

(団体: 139人・個人: 24人)

<ボランティア団体名、学校名> (順不同)

養老日赤/静里日赤/美容奉仕/理容奉仕/つばき会
 /友の会/マザーの会/大垣女子短期大学/大垣桜高
 等学校/大垣養老高等学校/不破高等学校/高田中
 学校/垂井北中学校/不破中学校/合原小学校

養老名鉄レストランのランチサービス(11/13)が
 ありました。養老名鉄レストランのみなさん、あ
 りがとうございました!



利用者代表の御礼のあいさつ

編集後記

今年も、早いもので12月になってしまいました。先月、フィリピンを猛烈な台風30号が襲い、大きな被害がもたらされました。多くの方が、住む家を失い大変な状況の中におられます。また、東日本大震災後3回目の正月を迎えようとしていますが、いまだ、仮設住宅などで避難生活をされているかたが27万8千人(復興庁ホームページより)おられ、復興の足取りもまだまだ時間がかかる状況に思われます。これらの、被災者のみなさんが少しでも早く通常の生活に戻るよう、復興が進むように、そして世界が平和でありますように祈りつつ。良いクリスマスと、新年をお迎え下さい。

(小林)

編集: 社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

各種地域ホームのご案内

●○グループホーム・ケアホーム

- | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| ● あゆみホーム
Tel 0584-82-3056 | ○ めぐみホーム
Tel 0584-22-4345 | ● 東神田ホーム
Tel 0584-22-2264 | ○ 岩手ホーム
Tel 0584-22-3032 | ● いなばホーム
Tel 0584-92-0792 |
| ● 青柳ホーム
Tel 0584-89-6231 | ○ 静里ホーム
Tel 0584-92-2405 | ● 表佐ホーム
Tel 0584-23-3305 | ○ 大門ホーム
Tel 0584-22-5079 | ● あいかわホーム
Tel 0584-23-0822 |